

## 7. 福岡市におけるマーケットバスケット調査方式による食品中の残留農薬および食品添加物の一日摂取量実態調査

保健科学課 小西 友彦・内山 亜喜子  
中村 正規・畑野 和宏・赤木 浩一  
内山 賢二・古賀 梓美・小嶋 慎太郎  
吉田 眞一

平成 21 年度食品衛生研究発表会

福岡市内を流通する食品を対象とし、食事からの残留農薬（平成 18～20 年度）および食品添加物（平成 19～20 年度）の一日摂取量実態調査を行った。マーケットバスケット調査方式を用いた本調査の結果、農薬については 7 つの食品群より 10 種類の農薬を検出し、それぞれの対 ADI 比は 0.0001～0.13%と安全上問題のない量であった。また、食品添加物については、ソルビン酸および安息香酸は 3 つの食品群から、プロピレングリコールは 6 つの食品群から検出し、それぞれの対 ADI 比は 0.50～1.09%と安全上問題のない量であった。